まつやま子ども 書推進ネット与 **31**

1月24日(土)10:00

松山市総合コミュニティセンター 3階 大会議室



富安さんを知るならこの1冊!

童話作家が天然なる日常をファンタジー

ぬきで書きつづる爆笑エッセイ集。

執筆、講演、家事、育児。

読者の共感を保証する一冊です。

9:30~ 受付

10:00~12:00 活動報告•実演発表

【発表団体】 ゆめがたりパパの会/石井幼稚園読み聞かせサークルしいの実/ 余土小学校PTAサークル ブックママ/中央児童センター・南部児童センター 4団体

ようこ

陽子 さん 13:00~講演会

本は不思議の扉

~妖怪とのつきあい方、教えます。~

【富安 陽子さんプロフィール】

現在、大阪府在住。

1959年、東京生まれ。高校在学中より童話を書きはじめた。

おもな作品に、『クヌギ林のザワザワ荘』(あかね書房)、「小さなスズナ姫」シリーズ(偕成 社)『空へつづく神話』(偕成社)、『やまんば山のモッコたち』(福音館書店)、「シノダ!」 シリーズ(偕成社)、「妖怪一家 九十九さん」シリーズ(理論社)など。 絵本の文の仕事に「やまんばのむすめ まゆのおはなし」シリーズ(福音館書店)など。 妖怪や山神、やまんばなど不思議な存在が生き生きと活躍する物語を数多く執筆している。

やおら、教科書を朗読しはじめるのである。わたしは別に、小学校の国語の教科書にのっている、 プカプ笑ったよ」とやられると、「うるさい!クラムボン!笑うな!」と、どなりたくもなるのである。

うちの次男は、音読の宿題が出るたびに、わたしのところにやってくる。わたしが台所で夕飯の用意をしていようが、原稿を書いていようが、そばに立って、 宮澤賢治の『やまなし』や、新美南吉の『ごんぎつね』がき らいなわけでは、決してない。しかしながら、毎日、毎日、原稿を書いている最中に、机の真横につっ立たれて、「クラムボンは笑ったよ。クラムボンは、カ 【エッセイ集『さいでっか見聞録』宿題、いまむかし(偕成社)一部抜粋】

【参加方法】入場無料・事前申込	
申込方法	電話、FAX、ハガキ、eメール、中央図書館1階カウンターに申出のいずれかの方法で申し込んでください。
申込事項	①氏名 ②〒·住所 ③電話番号(FAX·eメールアドレス) ④参加時間帯(午前·午後) ⑤参加人数
申込締切	1月17日(土) ※申込状況によっては締切前に受付を終了する場合があります。
参加証	受付後、参加証を送付します。当日ご持参ください。
お問い合わせ・申込先	松山市立中央図書館口〒790-0012 松山市湊町7丁目5番地 松山市総合コミュニティセンタ-内大学なTEL:089-943-8008 FAX:089-933-9968 eメール:tosyokan@city.matsuyama.ehime.jpロ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・